

令和 7 年度スタートアップ講話



「身近な生活を支える IT 技術と未来への発展・期待」

日本アイ・ビー・エム株式会社
理事／クライアント・パートナー
羽川 茂雄 様

講話内容

- ・最新のテクノロジーと変革へのチャレンジ（ハイブリッドクラウドと AI への投資、社会の変革を支える IT、社会インフラを支える IT）
- ・注目の技術領域（コンピューターの未来、AI が切り拓く新たな可能性、IoT・AI 事例）
- ・未来への発展・期待（何の目的のために何を使って世界を変えていくのか）

生徒の感想等（抜粋）

- ・インターネットや AI を使い生活を豊かにしてくれていてとても凄いなと思った。
- ・私たちの生活の中では IT が必要不可欠になってきています。今日見た動画の中で経路案内をするスーツケースが出てきましたが、このように障がいのある人達のためにも役に立ってきているので、この先どんどんそういうのが増えてほしいと思います。
- ・自分なりのパーパス（＝目的）を考えて見つけていこうと思いました。
- ・IT の意味を知れたり情報技術がどういうものかについて知れたりしたのでよかった。
- ・だんだんと AI が変化してきたことにおどろいた。AI で、仕事も便利になっていくことを考えた。
- ・IT は技術だけでは成り立たない。技術だけでなく、想像を働かして、課題を達成することが大事だと思った。
- ・自分たちが大人になったときに増えていくであろう AI を正しく使えるようにしていきたい。
- ・100 年程の歴史を持っている企業だと知り驚いた。時代の最先端を走ってテクノロジーを作っている会社だと感じた。
- ・AI はドローンや目の見えない人の役に立ってて、AI は様々な対応ができていてすごいと思いました。

- ・この先世界がどのように変わっていくのかを考えることができた。
- ・教育に飽和点がない点に関してとても共感出来たし、これからも想像力を大切にし、技術向上を目指して頑張っていきたいです。